



# 支部だより No.139

日本山岳会京都・滋賀支部

2020年6月15日

## 新年度を迎えるにあたり

松下征文

新型コロナウイルスという見えない敵との戦いで日常生活にますます厳しさが増してきました。

中国武漢から世界に拡散した新型コロナウイルス。昨年12月下旬の報道では、また中国か、という感じを受けただけであったが、1月下旬には全世界に感染者が増えていき、4月8日に日本山岳会古野会長より新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく「緊急事態宣言」の対応についてメッセージが発せられました。

感染者は日増しに増加して、4月16日には全国に緊急事態宣言が発出されました。山岳四団体からも4月20日に山行自粛のメッセージが出されました。わが支部でも総会が例年通り開催出来ず、山行予定も期日未定の延期や中止となっています。5月6日までの外出自粛は当面5月末と延期になりそうです(5月2日現在)。

このような状況の中、支部総会は事務局の努力で総会の報告や議案は成立しました。会員の皆様の御協力に感謝申し上げます。

支部役員の担当は別紙のとおりです。副支部長に笠谷茂会員、監事に中川寛会員、事務局へ山田和男会員も加わっていただきます。昨年までの担当業務大変ありがとうございました。

山岳会の高齢化は喫緊の課題です。準会員制度や、友の会で若い方に入会を勧めています。若い登山者の登山に対する考え方が多様化して、入会の必要性を感じないという若者が増えています。しかし山岳会に入会して登山の楽しみを学びたいという若者も大勢います。皆様の声掛けで入会されると思います。

これからコロナ感染がどのようになっていくかわかりませんが、感染予防に気を付けていただき、一日も早く皆さんと共に山を楽しめる日となることを祈っています。

## 日本山岳会京都・滋賀支部2020年度第35回総会報告

伊原哲士

日本山岳会京都・滋賀支部2020年度第35回総会は4月4日(土)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延は予想外に速く、緊急事態宣言等による自粛要請を受け中止しました。支部総会につきましては、新型コロナウイルス禍の情勢を鑑み、臨時措置として「書面議決」の総会を開催しました。4月30日(木)を期限として、承認議決が確認されました。以下は、報告です。

### 【要旨】

- ①2020年4月4日(土)に鴨沂会館にて日本山岳会京都・滋賀支部第35回総会開催を予定。
- ②新型コロナウイルス蔓延の影響で、会合等の自粛要請の中、4月4日の総会を中止。
- ③支部役員会にて、新型コロナウイルス蔓延禍の臨時措置として「書面議決」の総会に切り替えることを決定。
- ④4月30日を期限として、「書面議決」を開催。総会委任状36人。支部役員及び総会出席予定者の「書面議決」38名。支部会員137名中、過半数69名を上回る74名の参加で総会は成立しました。
- ⑤議決内容は「2019年度事業報告」「2019年度決算報告」「2020年度支部役員推薦(案)」「2020年度事業計画(案)」「2020年度予算(案)」の5点。全てに反対はなく成立しました。

### 「2019年度事業報告」

支部総会は2019年4月20日(土)に開催。記念講演は、平井一正名誉会員の「未踏の峰をめざして70年」。総会37名(講演会43名 懇親会33名)

通常の例会である「未知の山旅」「平日例会山行」「山歩会」「巨木探訪」「テント泊登山」「山のスケッチ」等が積極的に取り組まれました。

「講習会」は人工壁・沢登り・岩登りが取り組まれました。

山の日を記念して8月11日(火)に京都新聞社と連

携して「ファミリー登山@丹波」が取り組まれました。  
45人が参加し京都新聞でも報道されました。

他支部との交流は積極的に取り組まれました。

約2年にわたる京都新聞連載の『丹波の山々』が取り組まれ終了しました。

#### 「2019年度決算報告」

2019年度は緊縮会計が効果を上げましたが、厳しい会計が続きます。

#### 【2020年度支部役員】

笠谷茂委員は副支部長に、中川寛副支部長は監事とします。

長年監事だった山田和男監事は委員として、会計の宇都宮道人委員の支援をします。他の役員の変更はありません。今後も支部の役員の若返りにも積極的に取り組みます。

#### 「2020年度事業計画」

支部総会は新型コロナウイルスの蔓延禍により「書面議決」にて開催。講演会は延期。総会後の懇親会は中止になりました。

支部例会は「未知の山旅」「平日例会山行」「山歩会」「巨木探訪」「テント泊登山」「山のスケッチ」等の実施は新型コロナウイルスの蔓延禍で困難が予想されます。

他支部との交流も同様です。

京都新聞連載は『京都の山々』が4月より新連載として取り組まれます。

#### 「2020年度予算」

2020年度は新型コロナウイルスの蔓延禍で諸行事の中止、講演会の延期など、予想できない会計が続いています。

#### 【総会記念講演会の延期】

毎年恒例の支部総会記念講演会は、2019年度秩父宮山岳賞受賞者の安間繁樹氏でした。「人生を決めた西表島とボルネオ島の自然と人々」というテーマでしたが、延期としました。新型コロナウイルス収束後の支部「山水会講演」で開催する予定です。

#### 【2020年度京都「今西錦司賞」】

2020年度の京都「今西錦司賞」は酒井敏明氏（京都滋賀支部顧問・元京都支部長・帝塚山大学名誉教授・京都大学学士山岳会）に決定しました。

選考理由は、「酒井敏明氏は地理学者として地理学的視点から山岳や探検文化の掘り起こしをおこない、日本の登山文化の継承と発展に多大な功績を残した」こと。

## 日本山岳会京都・滋賀支部 2020年度事業計画

### 1. 例会山行、講習会、総会、講演会等

(京都・滋賀支部)

(4月)

2020年4月4日(土)

日本山岳会京都滋賀支部総会 14時～ 鴨沂会館記念講演  
安間繁樹氏 (2019年秩父宮山岳賞受賞)

2020年4月5日(日)

比良・ダンダ坊整備とBBQ懇親会(春季)

担当:真名子委員

2020年4月16日(木) 平日例会山行

釣瓶岳(1098m) 担当:田中顧問

2020年4月18日(土)～22日(水)

未知の山旅(四国または九州方面) 担当:笠谷副支部長

2020年4月19日(日)

北小松人工壁講習会 担当:松下支部長

2020年4月26日(日) 第1回 健幸登山教室

比良山系堂満岳東稜より金糞峠 担当:松下支部長

2020年4月28日(火) 山歩会

弥仙山(丹波) 担当:中川監事

2020年4月29日(水)

巨木探訪 担当:山村委員

2020年4月29日(水)

比良シャクナゲ山行

担当:真名子委員

(5月)

2020年5月9日(土)

今西錦司レリーフの集い

担当:中川監事

2020年5月16日(土)～17日(日) テント泊山行

富士写ヶ岳(ふじゃがだけ)

担当:田中顧問

2020年5月22日(金) 春のスケッチ

愛宕山

担当:山田委員

2020年5月26日(火) 山歩会

鷹峯三山(京都北山)

担当:中川監事

2020年5月27日(水)

巨木探訪

担当:山村委員

2020年5月28日(木) 平日例会山行

三等三角点 曲谷1(1006.2m)

担当:田中顧問

(6月)

2020年6月7日(日) 第2回 健幸登山教室

皆子山、平より東尾根往復

担当:松下支部長

2020年6月18日(木) 平日例会山行

八草峠古道～△780.4m(Ⅲ 戸谷)

担当:田中顧問

2020年6月24日(水)

巨木探訪

担当:山村委員

2020年6月30日(火) 山歩会 笹ヶ岳 (信楽) (7月)	担当: 中川監事	2020年10月21日(水) 山水会講演	担当: 伊原事務局長
2020年7月5日(日) 第3回 健幸登山教室 白滝谷沢登り	担当: 松下支部長	2020年10月24日(土) ~ 25日(日) テント泊山行 川上岳 (かおれだけ)	担当: 田中顧問
2020年7月18日(土) ~ 20日(月) 山岳展望と巨木	担当: 山村委員	2020年10月27日(火) 山歩会 黒尾山 (周山)	担当: 中川監事
2020年7月23日(木) 平日例会山行 ろくろ山	担当: 田中顧問	2020年10月28日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員
2020年7月25日(土) 大文字山納涼山行	担当: 森委員	2020年11月7日(土) ~ 8日(日) 五支部懇親山行 (石川支部担当) オンソリ山 (888m)	担当: 伊原事務局長
2020年7月28日(火) 山歩会 朝日山 (亀岡)	担当: 中川監事	2020年11月12日(木) 平日例会山行 墓谷山	担当: 田中顧問
2020年7月29日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員	2020年11月21日(土) ~ 23日(月) 富士山須山古道より宝永山 2693m	担当: 伊原事務局長
2020年8月2日(日) 第4回 健幸登山教室 白滝山~長池往復	担当: 松下支部長	2020年11月24日(火) 山歩会 阿星山	担当: 中川監事
2020年8月26日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員	2020年11月25日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員
2020年9月19日(土) ~ 22日(火) 第5回 健幸登山教室 上高地山研~焼岳北峰 2393m	担当: 松下支部長	2020年12月8日(火) 山歩会 忘年山行 山域未定	担当: 中川監事
2020年9月10日(木) 平日例会山行 野坂山	担当: 田中顧問	2020年12月14日(月) 武奈ヶ岳の日	担当: 松下支部長
2020年9月20日(日) ~ 22日(火) お月見山行 守屋山	担当: 山村委員	2020年12月17日(木) 平日例会山行 忘年山行 山域未定	担当: 田中顧問
2020年9月22日(火) 山歩会 小谷山 (湖北)	担当: 中川監事	2020年12月23日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員
2020年9月29日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員	2021年1月3日(日) 初詣山行	担当: 上田委員
2020年10月 山の日記念 「ファミリー登山」	担当: 伊原事務局長	2021年1月13日(水) 支部新年会	担当: 森委員
2020年10月 広島支部交流山行 (京都・滋賀支部担当)	担当: 伊原事務局長	2021年1月21日(木) 平日例会山行 山域未定	担当: 田中顧問
2020年10月 比良・ダンダ坊整備とBBQ 懇親会 (秋季)	担当: 真名子委員	2021年1月27日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員
2020年10月 秋のスケッチ	担当: 山田委員	2021年2月6日(土) ~ 7日(日) スキー例会 藪原スキー場	担当: 山村委員
2020年10月 未知の山旅 (越後・会津方面)	担当: 笠谷副支部長	2021年2月 五支部スキー山行 2021年2月24日(水) 巨木探訪	担当: 山村委員
2020年10月8日(木) 平日例会山行 栗ヶ岳	担当: 田中顧問	2021年3月12日(木) 平日例会山行 山域未定	担当: 田中顧問

2021年3月23日(火) 山歩会  
山域未定  
2021年3月24日(水)  
巨木探訪

担当：中川監事  
担当：山村委員

(その他委員会)

「今西錦司レリーフを守る会」  
斎藤惇生、前田司、大槻雅弘、中川寛

「今西錦司賞」選考委員会

斎藤惇生、塚本瑠一、杉山イタル  
機関紙(支部だより)編集委員会  
中川 寛、福田文夫、幣内規男、山田和男  
139号 2020年6月15日発行予定  
140号 2020年9月15日発行予定  
141号 2020年12月15日発行予定  
142号 2021年3月15日発行予定

(全国他団体関係)

2020年5月21日(木)  
『梅棹忠夫・山と探検文学賞』  
2020年6月20日(土)  
日本山岳会総会  
2020年7月4日(土)～5日(日)  
日本山岳会自然保護全国集会 奈良県吉野山  
関西支部担当

(部会活動)

自然保護部会  
山行部会  
海外部会  
ホームページ委員会  
ダング坊森づくりの会  
京都・滋賀支部友の会

2020年9月26日(土)～27日(日)  
全国支部合同会議  
2020年10月3日(土)～4日(日)  
全国支部懇談会(宮崎支部担当)  
2020年12月5日(土)  
日本山岳会年次晩餐会

2. 支部役員会、各種委員会、活動、その他

(京都・滋賀支部定例役員会)

京都・滋賀支部役員会 毎月第1水曜日に開催(祝日  
の場合は第2水曜日)

(支部関連の会)

京都陀羅佛会  
藤尾の森づくりの会

## 2020年度 日本山岳会京都・滋賀支部役員

顧問	斎藤 惇生	酒井 敏明	塚本 瑠一	薬師 義美	田中昌二郎	
支部長	松下 征文					
副支部長	幣内 規男	笠谷 茂				
監事	中川 寛	方山 宗子				
委員	浅原 明男	荒木龍太郎	伊原 哲士	上田闊三郎	宇都宮道人	大槻 雅弘
	岡田 茂久	須藤 邦裕	土井 文雄	野村 綾子	福田 文夫	真名子栄一
	宮永 幸男	村上 正	森 栄司	山田 和男	山村 孝夫	

担当任務

事務局	伊原 哲士	宇都宮道人(会計)	山田 和男	方山 宗子	中川 寛	
	野村 綾子	福田 文夫	森 栄司			
遭難対策	宮永 幸男	上田闊三郎(留守本部)	荒木龍太郎	須藤 邦裕	真名子栄一	
	村上 正					
山行部	松下 征文	浅原 明男	荒木龍太郎	上田闊三郎	大槻 雅弘	岡田 茂久
	笠谷 茂	須藤 邦裕	田中昌二郎	土井 文雄	中川 寛	福田 文夫
	幣内 規男	真名子栄一	宮永 幸男	村上 正	森 栄司	山村 孝夫
海外部	田中昌二郎	浅原 明男	真名子栄一			
自然保護	山村 孝夫	伊原 哲士	岡田 茂久	方山 宗子	幣内 規男	
ホームページ	上田闊三郎	伊原 哲士				
支部だより	中川 寛	福田 文夫	幣内 規男	山田 和男		
友の会	上田闊三郎	真名子栄一	松下 征文			

## 第9回登山教室指導者養成講習会に参加して

土井文雄

2月1日と2日、支部事業部委員会主催の講習会に参加しました。前年に会報でこの講習会を知り受講したいと願っていました。会場の安藤百福センターは山の中腹に位置して木々に囲まれ、浅間山が一望出来る好環境でした。

初日は座学。最初の講義は長野県山岳遭難救助隊の岸本副隊長による救助の実状を映像も加えて数例紹介。特にヘリコプター救助のドキュメント映像は生々しい迫力が有り緊張感溢れるものでした。興味深かったのは着用するウェアで発見されるスピードがかなり変わるといふ事。皆さん、派手めの色が良いですよ。

次は医療委員会の植木氏による低体温症・凍傷の基礎知識と対策。身体が震えだしたら既に危険な兆候だといふ認識を持ってください、との事。とにかく十分な予防と早期にそのサインを見つけるのが大事だと改めて認識しました。

三講義目は遭難対策委員長川瀬氏による実践セルフレスキュー。基本的なロープワーク、雪崩ビーコンの使用法、ツェルトを使った雪上梱包搬送の方法を教わりました。翌日の実技講習に直結する内容なので皆さん真剣な眼差しでした。

最後の講義は重廣氏の登山教室実施要領。登山教室の開催に際し必要な装備、業務、資質などの説明でした。講師陣の熱のこもった説明で予定時間も超えましたが充実した内容であつという間に時は過ぎたという感覚でした。

夜は食堂で夕食の後、引き続き懇親会。関東からの参加者がメインですが遠く広島支部からの参加者もあり、各支部の皆さんと交流を深め楽しむ事が出来ました。お土産で持参した鮎寿司の評判は・・・ご想像にお任せします。

翌朝定刻に集合、快晴の浅間 2000 スキー場へチャーターバスで移動。2グループに分かれて実技講習がスタート。ビーコンを使った雪崩埋没者発見の方法と救出作業を教わる。私は2013年からバックカントリースキーを始めて使い慣れてるビーコンで雪崩講習も受講しており、他の受講生はほぼ初心者。多少なりともいち早く発見出来るという密かな自信が有りましたが、結果は初めてビーコンを使った人に先を越されてしまいました。最新のビーコンは3アンテナ。僕の2アンテナとはサーチ能力に大きな差が有る事を痛感しました。最新の3アンテナビーコンはサーチ能力が大幅に

向上しているので経験不足でも大差なく、大切なのはそこからのプロービングとショベリング技術だと痛感しました。とりあえず、来シーズンまでに最新ビーコン購入します。

軽く食事を取った後は重廣氏によるロープワーク。雪山登山講習会を想定した実践的な内容。雪山ラッセル歩行、立木に支点構築してのセルフブレイ、急斜面を想定したタイトロープで結び合った歩行などを教わりました。残念ながら記録的な雪不足で講師陣が想定していた内容とはならなかったようですが、無事に講習を終え皆さん充実した笑顔でした。

自分が指導者の立場なら？という感覚を持って臨んだ講習で多くの安全対策を学ぶ事が出来ました。今後の支部活動にも、個人活動にも活用したいと思います。

この講習会の最中、個人的な事ですが悲しい事案が発生しました。初日の山岳遭難救助隊の講義を受講している正にその時間、私のバックカントリー仲間の友人が乗鞍岳で雪崩に巻き込まれて死亡するという事故でした。夕食の最中にその訃報を知り、とても不安定な心境になり、同室だった関西支部長の茂木氏にも「無理して受講せず明日は止めても構わないよ」ともアドバイスされましたがなんとか気持ちを切り替えました。

「山に有る危機は初心者だろうがベテランだろうが平等に襲い掛かる。そのサインを予め想定し見逃さず注意深く行動して回避しなさい」以前雪崩講習で教わったカナダ人講師の言葉を思い出しました。彼の死を無駄にしないように安全意識を徹底して今後も山を楽し



実技講習

もうと決意した二日間になりました。

この講習会への申し込みを代行していただいた支部長、快く送り出していただいた京都・滋賀支部の皆様へ感謝いたします。

実施日：2020年2月1日（土）、2日（日）

参加者：22名

（男14名、女8名、参加支部：東京多摩、埼玉、千葉、山梨、岐阜、静岡、関西、広島、京都・滋賀

## 藪原スキー例会

村上 正

小春日和の中山道、道路わきにも小高い山の裾にも雪らしいものは見られない。雪はどこかとフロントガラス越しにゆっくり視線を上げていくと、ようやくキラキラと光る雪に辿りついた。空木岳だろうか。稜線に沿って首を振っていくと小さく尖った山が見える、宝剣のような気がする。あのテカテカした光り方はアイスバーンに違いないと一瞬思ったのだが、正月からの暖かさを思うとウインドクラストの最中状態だとしてもおかしくない。三千メートル近い稜線から白く輝く光を見ている私には、それぐらいしか思い浮かばない。藪原へと向かう道中、ゲレンデの積雪には多くを望まずそんな雪線を辿っていた。

昼過ぎに「民宿：大屋」に着く、私の例会参加は三回目になるが相変わらずゲレンデは近い。道の駅でお腹は済ませてある、なんの躊躇もなく板を担いでリフトへと気が急ぐ。今回は一泊、滑れるのは今日の午後と明日の午前中、チャンスは少ない。

今年は初使用の板と靴、昨年を受けた指導が生かされるかどうか不安を背負ってリフトに揺られた。足慣らしに2本を滑るが昨年の感覚は眠ったままでなかなか起きてこようとしなない。皆の後を追いかけてながら数本、徐々に板に乗る感覚が戻ってきた。前を滑って後ろから見て貰い修正する、褒めてもらった。何本滑ったのか分からないが、その度に褒めてもらって私のテンションはあがる。もう少しもう少しとリフトが止まるまで粘り「上達した感」を土産に宿に帰ると、テーブルには酒と肴がならび宴会の序曲が始っていた。

夜が明け朝食を終えてストレッチをしていると、ホーム炬燵に足を入れたまま横目で私を見ている皆さん。「行かないのですか!」と聞くと気だるそうな顔で「11

時迄に戻って来て!」と返事が返ってきた。行く気は無いようだ。私が着替えだすと二人釣れた。割引付券を握りしめ、シニア券を三人揃って買う。昨日の滑りはいまひとつ納得のいく出来ではなく、教えて貰ったのにこのままで帰る訳にはいかない。できれば一つ上のイメージで帰りたいものが見事な振り返りにあう。昨日、皆さんからそれぞれ言葉を選んで「上手くなった」と褒めて貰ったのに、きょうは何故か上手く滑れない。

（・・・皆さん・・・昨日のあれは誉め殺しです・・・か?）

スキー帰りの翌日、午前中にプールに行った、泳いでいたら酒臭いと言われた。

昨夜は飲んでいないはず、藪原の宴会の余韻、まだ残っていたのだろうか。

実施日：2020年2月8日（土）～9日（日）

参加者：山村孝夫（L）、山田和男、伊原哲士、大槻雅弘、村上 正  
（会員外）川勝雅文、内村百合子

## 日本山岳会5支部合同スキー山行

伊原哲士

暖冬である。日本山岳会5支部（京都滋賀・岐阜・富山・福井・石川）合同スキー山行の開催も危ぶまれたが、前の週にドカッと大雪が降った。担当の石川支部からは実施するとの連絡が入った。

2月15日（土）は京都・滋賀支部は2台の車で、それぞれの地域から出発した。1台は滋賀組。土井文雄さん、土井ゆかりさん、田中紀代美さんのグループ。「早めに出発して石川県の一里野スキー場で遊んだ」という。「雪は少なく、回数券を3人でシェアして5本ほど滑った」という。少しでも、スキーを楽しめたという意味では正解だったかもしれない。当日、宿舎である「吉野谷セミナーハウス」に着いて、目の前の旧中宮スキー場を眺めて「雪がほとんど無い」と愕然としたからだ。

同じ頃、福井支部の参加者も早めに来て、旧中宮スキー場に下見も兼ねて挑戦した。スキーどころか、ワカンも必要なく、雪解けの泥道との闘いだったとのこと。

先週、石川県は大雪だった。その後、雪は降らず、急速にとけて行ったという。

もう一台の車は、奈良組の松下征悟さん、私。滋賀県草津市の松下征文支部長宅で田中昌二郎顧問と合流して石川へ向かった。宿舎の「吉野谷セミナーハウス」

に着くまでの風景は2月には珍しく雪には出合わなかった。何よりも気温が暖か過ぎる。「吉野谷セミナーハウス」で私たちも旧中宮スキー場を見た時、「明日のスキー山行は無理かな」という嫌な予感が脳裏を過ぎる。

「吉野谷セミナーハウス」には早く着いた。ところが目の前の新中宮温泉はボイラーが壊れていて休館しているという。石川支部の樽矢導章支部長が「申し訳ない」と声を掛けてきた。石川支部の所為でもなく、かえってこちらの方が恐縮してしまった。

「吉野谷セミナーハウス」の部屋には入れたので、京都・滋賀支部の参加メンバーは部屋でくつろいで雑談をしていた。

来客があった。京都大学学士山岳会の横山宏太郎(支部会友)さんだ。岐阜支部所属だが、住まいのある新潟県高田市から来たという。横山さんも早く着いた。「京都・滋賀支部」の表示を見て訪ねてきたという。随分前になるが、旧京都支部の総会の時に記念講演ではお世話になった。雪氷研究者、1972年の南極越冬隊員。1993年は南極越冬隊長。

横山さんを囲んで南極談義が始まった。今回の5支部合同スキー山行が流れる予感の中、横山さんのお話の面白いこと。これだけでも今回は石川に来た値打ちがあった。

南極の氷には地球の気候が凝縮されている。36万年分のボーリングの結果は地球の歴史が解る。地球温暖化の傾向は人類が農業を発見した時からその兆候がある。地球は緩やかに寒冷期に向かっているのに、温暖化が起きているのは人類の仕業であることは否定できない。過酷な南極越冬生活。食事(酒も含む)は楽しみ。野菜不足の話。越冬生活が終わり迎えの船を「御救免船」と呼んだこと。南極には土産物屋がないので南極の氷のブロックを土産に持ち帰る話し等、時間の過ぎるのを忘れるほどであった。

夕方は5支部が集っての懇親会。「吉野谷セミナーハウス」は自炊なので、石川支部と近所の民宿の方が食事のお世話をして下さった。各支部が祝いのお酒を持参。大いに盛り上がった。夕方からの降り続く雨音が気にはなったが、懇親会の楽しさに忘れた。

翌朝も雨だった。石川支部の樽矢導章支部長が「スキー山行は天候不良で中止します」と連絡してきた。秋の5支部懇親山行も石川支部の担当で「吉野谷セミナーハウス」を使用するという。今回は下見に来たようなものだったか。

帰路は、福井の恐竜博物館を訪ね、「京都・滋賀支部」はそれぞれの車ごとに散会した。

次回の5支部スキー山行の担当は福井支部である。

実施日：2020年2月15日(土)～16日(日)

参加者：伊原哲士、田中昌二郎、土井文雄、松下征悟、松下征文、(友の会)田中紀代美、土井ゆかり(京都・滋賀支部)7名、(石川支部)8名、(福井支部)4名、(岐阜支部)4名、(富山支部)6名

## 巨木探訪シリーズ

### 丹波市青垣・氷上町 (自然保護部会2月例会)

岡田茂久

兵庫県丹波市青垣町、氷上町の巨木観察である。四条大宮を8:30出発、晴の予報であるが天気は今ひとつすっきりしない。丹波地方訪問の定番ルート、亀岡から「でかんしょ街道」を篠山へ、次いで篠山ICから舞鶴自動車道を春日ICまで1区間利用し、そこから無料の北近畿豊岡自動車道(現在、北近畿豊岡自動車道は、神鍋スキー場の入り口の「日高町」までの約60kmが開通しており非常に便利で有難い)を青垣ICで降りる(10:35)。まずは「青垣道の駅」で情報収集。

最初に向ったのは青垣町芦田の「蘆井(あしい)神社」(11:00)。巨木と言われる目通り幹囲5mという「杉」は期待外れであったが、圧巻は神殿の軒を飾る「彫刻」の数々、神殿正面の鳳凰、側面の龍、墓股の不思議な怪獣、象、麒麟。精緻で細やかな彫り物は、町の文化財になぜ指定されないのかと思われる程に素晴らしい物であった。

氷上町に入り北御油の「神野(かんの)神社」(11:25)、目通り幹囲は3mにも至らないが、樹齢500年と言われ樹高41mの檜、幹が細いこともあり見上げる高さは大悲山の日本一60mの「3本杉」と同等に感じる。しかし、檜皮を中途まで剥かれて赤膚を晒していたのは哀れであった。当檜は丹波市指定の天然記念物で、もう少し大事にしたらとも思うが、昔から神殿の屋根の補修に利用するのが慣例であるのかもしれない。

次いで(11:40)氷上町北後油の「永谷山円通寺」、南北朝時代の永徳2年(1382年)に、時の將軍足利義満が後円融天皇の勅命を奉じて創建し、今日まで六百余年の歳月を経た古刹であるが、近年になって円通寺は「四季彩の寺」としても知られるようになった。春はサクラ、夏はアジサイやスイレン、冬は雪景色と年間を通じて楽しめる。中でも秋は『丹波紅葉三山』と呼ばれる紅葉の名所の一つで、シーズンともなると大勢の人達で賑わうという。駐車場も広く入場には拝観料\*\*と書いてあったが、さすがシーズン外とあって

管理人もおらず無断で入らせて頂いた。外堀を思わす池を前面に白壁の塀を設け、城郭を思わすような堂々たるたたずまいである。丹波市指定天然記念物の「円通寺大杉」は、目通り幹囲6.7mで池の畔に隆々と立ちただけ、周りはきれいに整備され大事にされていた。本堂の裏手には「タブノキ」と春には、さぞ見事であろうと思われる「いとさくら」が大きな枝を拡げている。山門には仁王様で無く、本来は本堂で仏様を近待でお守りする四天王の「持国天」「増長天」像が立っておられる。京都八坂神社の西楼門は「隨身門」とも呼ばれ老若の隨身が着座。東京浅草寺の雷門は「風神・雷神」であるが、四天王が脇侍では無く寺の外構の山門で、門番をされているのに気が付いたのは始めてで、先程の「蘆井（あしい）神社」の本殿の彫刻と同様に見ごたえのある姿をされていた。調べてみると永平寺他にも例があるようで浅学を恥じるところである。

次は同じく氷上町香良（こうら）の加和良（かわら）神社（12:20）、鳥居の額は、弘法大師空海の筆と伝わる。目的の「ムクの木」目通り幹囲5.5m、樹高30メートル、地上1.5メートルほどから横に大枝が伸び、道路に大きくはみ出す。境内は古くから「櫨の森」と俗称され、境内を囲む叢林に「ケヤキ」「ムク」の巨木が十数本も散見できる。「加和良神社社叢」として市の天然記念物に指定されている。続けて（12:35）同じく香良の「円梧禅寺のカヤ」目通り幹囲6m 樹齢800～1000年を訪ねる。

氷上町の最後は（12:50）、賀茂の尼寺岩滝寺に樹齢400年の「夫婦杉」を訪ねる。岩滝寺は紅葉の名所で、現在は台風被害の復旧工事で入れないが「独鈷の滝」が有名、本堂裏の「四国八十八所本尊石像」群は壮観である。

遅い昼食を済まし往路帰京としたが、篠山で少し寄り道し「でかんしょ街道」の辻集落を南に入り、稲荷神社の「四本杉」を訪ねる。目通り幹囲9m、樹高30m、樹齢700～800年。大杉は地上4～5mあたりで4本に枝別れしている。ワイヤーで枝が裂けないように固定してあるが、ワイヤーも切れそうに樹勢盛んで見事なものであった。

旧国道「でかんしょ街道」には、近くの「波々泊部神社」に目通り幹囲7m 近くの大杉、東の福住には樹高33m、目通り幹囲8.4m、推定樹齢700～800年の「安田の大杉」がある。

実施日：2020年2月26日（水）

参加者：山村孝夫（L）、仕名野完治、中川 寛、  
柏木俊二、方山宗子、岡田茂久



「加和良神社社叢の巨木群」



辻の稲荷神社「四本杉」

## 平日例会山行

### 棧敷ヶ岳から飯盛山

八木 透

夜明け前は相当に冷え込んだようだが、朝になると雲ひとつない快晴の空。絶好の山行日和である。田中リーダーの車にお世話になって、国道162号を経て、大森集落へと向かう。コロナウイルスの影響か、国道を行き交う車も普段と比べて少ないように感じた。

大森キャンプ場の先の空き地に駐車し、8時前に少し肌寒い空気の中、薬師峠を目指して登山を開始する。道は少し荒れていて、道標はあるが破損しているものが多く、この道を歩く人が少ないことを感じさせる。薬師峠から先は気持ちのよい尾根道歩き。自然林の木々はまだ冬枯れの状態だが、所々、春が近いことを感じさせる。空気は冷たいが、どこか早春の匂いが漂ってくる。途中で岩茸山へ立ち寄り、高压電線の下を通り過ぎると、目指す棧敷ヶ岳のピークが見えた。通称「都ながめの岩」からは京都市内が一望できる。ここはか

つて、悲運の皇族とされた惟喬親王が、都を眺めては栄華を懐かしんだと伝えられる場所だ。惟喬親王は平安中期の寛平9年(897)、大森の集落で崩御されたと伝えられており、大森東にある安楽寺は惟喬親王の墓所といわれ、平安初期の作とされる薬師如来座像が祀られている。

それにしても高圧電線の下からは、遠方の山々を見渡すことができる。比良山系に目をやると、蓬萊山から武奈ヶ岳にかけての稜線にはまだ少し雪が残っているようだ。しかし丹波山地の山々にはまったく雪は見えない。やはり比良は標高が高い分、雪が遅くまで残るのだろう。棧敷ヶ岳山頂直下で単独行の男性と出会う。聞けば棧敷ヶ岳を踏破して、すぐに雲取山へ向かうとか。

棧敷ヶ岳で写真を撮り、小休止した後、ナベクロ峠へ向かう。ここからは踏み跡が曖昧になり、地形図とGPSを頼りに慎重に道を辿る。11時過ぎにナベクロ峠に到着。ここで昼食にする。

ナベクロ峠を後に、いよいよ城丹国境尾根に取りつく。とにかく地形が複雑な上、道標や目印のテープも少なく、迷いやすい稜線だ。筆者は4年前に初心者連れてここで道に迷い、大谷峠とは反対側の谷に下りてしまって、たいそう難儀した経験がある。今はGPSがあるので安心だが、それにしても道が荒れている上に倒木も多く、とにかく歩きづらい。ナベクロ峠から約90分で無事に大谷峠に着く。小休止の後、飯盛山を経て西側の鞍部へと下る。緒方氏のたつての希望で、さらに西のピークに立つ反射板まで登ることにする。古い地図には反射板から直接林道へ下る道が記されているが、探してみても踏み跡らしきものは見当たらず、結局元の鞍部まで戻って植林帯の中を下る。しばらく行くと大谷峠からの登山道と合流し、あとは荒れた林道をひたすら歩き、15時過ぎには車を停めた場所へ戻る事ができた。

参加のメンバーが晴男と晴女だったのだろう。これ以上ない日和の中、早春の北山を満喫することができた山旅だった。

#### コースタイム

大森キャンプ場の先の空地に駐車 登山口 7:55 出発  
⇒ 薬師峠 8:35/8:40 ⇒ 岩茸山頂 9:30/9:40 ⇒ 棧敷ヶ岳 10:25/10:40  
⇒ ナベクロ峠 11:05(昼食) 11:40 出発 ⇒ 大谷峠 13:05/13:15  
⇒ 飯森山 13:30/13:35 ⇒ 反射板往復⇒鞍部 14:05  
⇒ 林道出合 14:20/14:25 ⇒ 大森キャンプ場空地 15:10

実施日：2020年3月12日(木)

参加者：田中昌二郎(L)、八木 透、  
(友の会)古谷英二、緒方由子



棧敷ヶ岳山頂にて

#### 山歩会例会

### 長野東山二等 / 愛宕山

### 朝ドラ「スカーレット」の里、信楽の山を歩く

大倉寛治郎

新型コロナウイルスによる小中高の休校やイベントなどの自粛要請がなされた。不安を感じる中で3月24日(火)山歩会例会に参加する。信楽高原鉄道信楽駅へは3回の乗り継ぎとなる。京都駅0番ホームで、参加の森さん京極さんたちと合流するが、コロナウイルスの影響で乗客数は控えめである。終点信楽駅ホームでは狸の陶器が整列して歓迎してくれた。

改札を出るとすでに参加の皆様がおられ合計11名となる。リーダー竹下節子さんから本日の行動スケジュールの説明があり、山行後は時間があるので窯元巡りという提案があった。

愛宕山へ向かう道中で、お地蔵の中に「おもかるさん」という丸い石が置かれていた。これは、持ち上げる人によっては、重くまた軽く感じるとの説明であった。町内を抜け愛宕神社の境内に着くと、大きな石に愛宕神社・陶器神社と刻まれていた。鳥居をくぐり進むと朱色の稲荷が、更に行き長い階段を登ると愛宕山頂に着く。山頂には愛宕神社と陶器神社のふたつの名前が掲げられている。

愛宕山頂に祭祀する愛宕神社は、千二百年の伝統を誇る信楽焼の生産と不可分の関係にある。「毎年七月に山頂の愛宕神社に松明を奉納する荘厳にして古式床しい神事が古くより行われており、また東京の有名な芝

愛宕神社は、徳川家康が慶長八年に幕命によって、この信楽の愛宕神社の分霊を江戸に移し参らせたのである」との説明があり、多くの歴史学者の肯定している所である。

『陶器神社奉賛会の説明文』によると、陶郷信楽の中心点ともいべき愛宕山頂の陶器神社は、その御祭神を火の守護神「愛宕権現」と、土を司り給う「加具土師」及び焼物を始めとする当地方文化の祖「天日鉾命」を祭祀し、遠く我々の祖先より祀り継がれて来た、正しく我が陶器産業守護の神社でありますと書かれている。

休息後、山頂を後に登山道を下ると自動車道愛宕山東登山口に出る。車道を更に東に進み、人家の横を通り長野東山へ山裾を行くと、四方に縄が張られていた石のその先にある新宮神社の分社に着く。小川を渡り西尾根に取りつくと、高度差210mの階段状の登山道「プラスチック製巡視路」がある。急登で、冷たい風が強くと寒い中を登ると、信楽デジタルテレビ中継所、NHK信楽デジタル中継所に着く。この先の登山道は広くなり、進むと林道に出、広くなったところが長野東山登山口である。斜め斜面を登ると動物除けのネットフェンスが設けられていた。支柱の両端はロープで結ばれていたが、ほどいて通る事ができた。登山道の熊笹の中を快適に進み、ネットに沿って登ると長野東山（長野村）559.44mと書かれた標識があり、二等三角点が熊笹に覆われてネットの中に頭を出していた。ハサミで熊笹を切ると二等三角迄文字が確認できた。フェンスに沿って緩やかな斜面を下り、登山口に戻って、風を避け広場で昼食をとる。

帰路は林道を下る事になった。林道は所々で改良工事が行われていたが、急坂を下ることを思えば大変楽だ。下ると玉桂寺0.8kmの標識があり、町道を信楽駅にもどり登山は終わる。

担当者案内による「スカーレット」の舞台、信楽窯元巡りに向かう。新宮神社からろくろ坂散策路に信楽焼の敷石『ROKURO』が埋め込まれた案内石、そして『KAMAZUME』と歩き丸熊陶業に立ち寄る。撮影用に火鉢が沢山並べてあった。又信楽焼の最盛期を雄弁に語る遺産、丸又窯「滋賀県史跡に指定」を見る。今日も釜から煙が上がっていた。楽しく過ごして駅に戻る途中「マルボタ舎」でお茶を飲み、憩いのひとときを過ごす。帰路は車で参加の方の配慮でそれぞれの車に分乗して信楽の山行計画を終えた。

皆様、車提供の方お疲れ様でした。

コースタイム：信楽駅 10:00 - 愛宕参道 10:15 -  
愛宕・陶器神社 10:30～40  
愛宕山車道参道入口 10:50 - 新宮神社分社 10:55～  
11:05 - NHK 信楽デジタル中継放送所 11:40 -

長野東山登山口 12:10 長野東山（長野村）二等三角点  
12:20～30 - 登山口休憩 12:35～13:15 - 林  
道入口 13:50 - 信楽駅 14:20 - 信楽窯元  
巡りとマルボタ舎 15:40～16:20

実施日：2020年3月24日（火）

参加者：竹下節子（L）、森 栄司（SL）、遠藤将一、  
大倉寛治郎、松下征文、真名子栄一、  
（友の会）川寄紀久子、京極明美、角田恭子、  
馬場信枝、古谷英二



丸熊陶業前にて

## 巨木探訪シリーズ

### 兵庫県氷上町近辺

(自然保護部会 3月例会)

中川 寛

先月に引き続き、兵庫県氷上町近辺を中心に巨木探訪に出かけた。いつものように8:30四条大宮集合で、一路氷上町へと向かった。春を感じる好天に恵まれた。最初の巨木は、氷上町三原の内尾神社の杉。神社参道の両側に幹回り3～4m台の大杉が並び、好い雰囲気だ。参道の先の石段を登ると本殿の左右に大杉が立っている。幹回りを測ると向かって左が5.9m、右が6.9mあった。樹齢は300年以上とのことだが、まだまだ元気な樹だった。

次の目的は巨木ではなく氷上町清住のカタクリの里だ。今年は暖冬でカタクリも少し早めに咲いているだろうと期待していたが、なんと、「新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、カタクリ園への入園を禁止致します。」と立て看板があり、人っ子一人いない山の斜面にあるカタクリ園に入れなかった。こんなところにもウイルスの影響がと驚きながら双眼鏡を取り出して見ると、山の斜面にカタクリの花が今を盛りと咲

いていた。

次は、氷上町三方の大カツラ。カツラは水辺を好み、葛野川の上流の道路わきにあった。カツラは、主幹の寿命が近づくとその外側に萌芽木を伸ばし、株元を広げていくが、全ての幹を合わせた幹回りは12m、推定樹齢は350年とのこと。立派なカツラであった。

氷上町加茂にある田中天満宮のケヤキは、地元の人に尋ねてもわかりづらい小さなお宮で、ケヤキも幹回り4mほどで、さほど大きいものではなかった。続いて、氷上町鴨内の芹田神社のシイを見た後、丹波市青垣町の道の駅で昼食を取ったが、ここは大勢の客ですぐには席に着けないほどで、コロナウイルスの影響はほと



三方の大カツラ



波々伯部神社の大杉

んど感じなかった。昼食後、京都までの帰り道にある、私がまだ見ていない巨木を案内してもらった。

丹波篠山市宮ノ前にある波々伯部神社の大杉は、幹回り6.7m、樹高45mの見事な巨木で、樹勢も盛んで見応えがあった。ちょうど散策に来ていたかわいなお嬢ちゃんにモデルをお願いして写真を撮った。木の大きさが実感できる。

次は、園部町天引八幡神社のムクノキ。かなりの老木で樹勢に衰えが見られるが、幹回り8mの大木であった。最後は亀岡市にある大内神社の大杉。これも幹回り8mの見事な巨木であったが、落雷により火災が発生、空洞となった箇所がコンクリートで覆われていた。

この日は、7本の巨木とカタクリの里を訪れ、贅沢な一日であった。

実施日：2020年3月25日（水）

参加者：山村孝夫（L）、柏木俊二、仕名野完治、

中川 寛

## 追悼 村山裕嗣君

森 栄司

「1月13日に逝去した」と、突然に東京在住の村山裕嗣君の訃報が入った。1月15日に南禅寺順正で開催された支部新年会では彼の欠席の葉書が届いていた。「病気療養中にて欠席します」とある。この2日前に逝去していた。悲しみが脳裏をよぎる。

昨年の10月に彼は京都に現れて、「ちょっと一杯飲もうか」と来た。私が「ビールか」と言うと「日本酒だ」と彼は応えた。その時、「最近、便秘気味で少し調子が悪い」と言うので、飲むのを中断した。そして「今日は斎藤先生の診察や」と無理に診てもらう為に祇園四条のカモガワビルの斎藤診療所へ送った。洪々、彼は「それじゃあ、行ってきます」と斎藤診療所に向かった。斎藤先生の診察を受けて、1時間半ほどして戻って来た。「明日、新河端病院に精査に行くよ」と寂しく言い、少しだけお酒を飲んだ。「それじゃあ、又」と宿へ戻って行った。村山裕嗣君はいつものように着物姿であったが様子が違った。これが最後の別れとなった。

村山裕嗣君と私は何故に気が合ったのだろうか。

彼が京都によく来るようになったのは、夏の支部例会の「大文字山納涼山行」からである。マンネリで2007年頃から、「大文字山納涼山行」の参加者が少なくなった。義侠心の厚い彼は、東京から比叡山に来た際に、モーツ

アルト協会のメンバー6名を引き連れて「大文字山納涼山行」に参加してくれた。この時は、前年に不慮の遭難で亡くなった朝倉英子さんの献杯にも参加してくれた。

以後、村山裕嗣君は「大文字山納涼山行」には欠かさず参加してくれた。

2011年には奥様と友人で参加。下山解散後、4人で飲食を共にした。

2012年には斎藤先生と北海道から河村皆子さんらも参加された。彼はビール・ワイン・酒をたくさん持参。私は肴をと盛り上がった。

2013年は支部の「友の会」が発足した年である。この年も、いつも連れ立ってくる国士館大学の友人3名と盛り上がってくれた。

2014年はカラ梅雨で連日京都は38度の猛暑の年。「大文字山納涼山行」では斎藤先生に乾杯をお願いした。先生は中国語の殷文怡さんに「京の夜景を観てもらいたい」と頑張ってお二人で登って来られた。

2015年は東京多摩支部の大船武彦さんに報告をお願いしている。参加者は11名と少なかったが写真入りで村山裕嗣君の楽しい様子が良くわかる。報告内容も素晴らしい。

2016年、2017年は台風と大雨警報で「大文字山納涼山行」は中止となった。

しかし2018年には台風模様の中、「参加者があれば申し訳ない」と銀閣寺門前まで行ったところ、午後6時前に村山君が一人「ドリンクはリュックにあるよ」

と突然の中止を心配して来てくれた。

2019年は前日から天候が不安定であった。誰も歩いていない銀閣寺の参道をリュック担いで「行けそうだな」と言って駆けつけてくれた。

このような仲であったが、彼は首都圏会員から京都・滋賀支部へ「変更できないだろうか」と言って来た。新しい公益社団法人変更の論議の頃から彼は京都・滋賀支部へ移りたいと希望していた。この件は支部役員会ですぐに了承された。彼は大変に喜んでくれた。

そして昨年2019年の支部総会では村山裕嗣君に議長をお願いした。彼は一つ返事で引き受けてくれた。彼は東京のド真ん中で生まれた生粋の江戸っ子であると私は思っているが、京都には何かと深い思い入れがあったようである。

村山裕嗣君と私は昭和22年生まれの同じ団塊世代である。

これが縁となり10数年に渡り、彼の友人達や幼な友達（小学校の同級生）と京都で交友が続いた。幼な馴染からは、村山裕嗣君の小学生頃の容姿が現在と変わらない話し。彼の家は豪邸で庭の池には小さな橋が架かっていた話しまでしてくれた。大変楽しく盛り上がった。

昨年の夏にはお互い「自由になる来年は山と酒と温泉や全国を歩こう」と語りあった。

ところが全国ではなく遠い三千世界へ先に行ってしまった村山裕嗣君。今はゆっくりと飲んで休んで下さい。合掌

# 行 事 案 内

- ◇ 山行への参加申込は、例会名、会員番号、氏名、年齢、電話番号等、緊急連絡先および山岳保険の加入・種類など必要事項を記入の上、郵送または FAX で。
- ◇ 「★マイカー分乗」の山行は参加者の自家用車利用を予定しています。ご協力をお願いします。
- ◇ 思わぬところで遭難事故が発生します。車両保険と同様、また、ご家族のためにも山岳保険の加入は登山者の常識です。会員各位のご理解をお願いいたします。

## 平日例会山行

### 野坂岳913.3m

目的の山域・山名：福井県敦賀市の西南に有り、滋賀県境三国岳から派生する支脈の最高峰で、敦賀富士とも称されている。

日 時：2020年7月23日（木）

集 合：参加者に連絡

行 程：いこいの森駐車場→栃ノ木地藏→行者岩→一ノ越（袖地藏）→一ノ岳→二ノ岳→三ノ岳→野坂岳△913.3m（I 点名 野坂岳）→往路下山→いこいの森駐車場

地 形 図：1/25000 図「敦賀」「駄口」

行程時間：頂上まで約2時間30分、下山2時間、標高差±約750m

山行の目安：体力3、技術3

担当者・リーダー：田中昌二郎

申 込：7月15日（水）までに所定事項記入の上、FAX またはメールにて担当者まで。

### ろくろ山 662.5m と三十三間山 842.3m 天増川源流域・三重岳山塊を展望する

目的の山域・山名：福井県三方上中郡若狭町と滋賀県高島市の境界山稜に位置する

日 時：2020年9月10日（木）

集 合：参加者に連絡

行 程：R367号朽木⇒保坂⇒熊川⇒倉見峠⇒林道（駐車）→369→635→ろくろ山△662.5m（IV 点名 大石谷）→692→風神→三十三間山△（Ⅲ 三十三間）→風神→倉見→林道駐車場⇒倉見峠⇒保坂⇒朽木

地 形 図：1/25000 図「熊川」「三方」

山行の目安：体力3、技術3

担当者・リーダー：田中昌二郎

申 込：9月2日（水）までに所定事項記入の上、FAX またはメールにて担当者まで。

## 山歩会例会

### 丹波の山 朝日山/丁塚山

日 時：2020年7月28日（火）

集 合：JR 亀岡駅南口駅前 9時

行 程：JR 亀岡駅南口⇒湯の花温泉→神蔵寺→朝日山→神蔵寺→丁塚山登山口→丁塚山→稗田野町天川⇒JR 亀岡駅南口

山行目安：体力2、技術2

地 図：1/25000 図「亀岡」

担 当：中川 寛

申 込：7月21日（火）までに所定事項記入の上、FAX またはメールで担当者まで。

### 歴史の山 小谷山

日 時：2020年9月22日（火）

集 合：JR 河毛駅前駐車場 9時30分

行 程：JR 河毛駅→小谷山登山口→小谷城本丸跡→清水谷分岐→小谷山→福寿丸跡山城丸跡→JR 河毛駅

山行目安：体力2、技術2

地 図：1/25000 図「虎御前山」

担 当：中川 寛

申 込：9月15日（火）までに所定事項記入の上、FAX またはメールで担当者まで。

## 登山教室・講習会

### 健幸登山教室—4

1回目はコロナ感染予防で中止しましたが、期日未定ですが後日行います。

内 容：比良長池へ、迷わない登山

日 時：2020年8月2日（日）

集 合：坊村駐車場 7:30

地 形 図：1/25000 図「比良山」

行 程：坊村→伊藤新道入口→ワサビ大滝→白滝山→長池→同ルート下山

目 安：体力3、技術2

担 当 者：松下征文

申 込：7月20日までにメールか携帯で担当者まで  
 参加費：友の会 1000円、受講生 2000円  
 その他：詳細は参加希望者へ

### 健幸登山教室—5

上高地より焼岳へ

内 容：上高地山岳研究所泊（予約出来ないときは  
 キャンプ）

日 時：2020年9月19日（土）～9月22日（火）

集 合：参加者打ち合わせの上

地 形 図：1/25000 図「焼岳」

行 程：山岳研究所→新中尾峠→北峰→同ルート下  
 山

目 安：体力4、技術2

担 当 者：松下征文

申 込：8月10日までにメールか携帯で担当者まで

参加費：会員 9000円、友の会、受講生 17000円  
 他に食費、交通費

その他：詳細は参加希望者へ

### 山岳展望と巨木探訪

日 時：2020年7月24日（金）～26日（日）

集 合：四条大宮嵐電前 7時30分

行 程：岐阜高山方面

担 当 者：山村孝夫

申 込：6月24日（水）までに所定事項記入の上、  
 ハガキまたは電話で担当者まで

### 大文字山納涼山行

大文字保存会の自粛要請を受け、本年は中止します。

### お月見山行と巨木探訪

日 時：2020年9月20日（日）～22日（火）

集 合：四条大宮嵐電前 7時30分

行 程：守屋山（1650m）

地 形 図：1/25000 図「辰野」

担 当 者：山村孝夫

申 込：8月20日（木）までに所定事項記入の上、  
 ハガキまたは電話で担当者まで

### 巨木探訪シリーズ(7月・8月・9月)

日 時：2020年7月29日（水）

8月26日（水）

9月30日（水）

担 当 者：山村孝夫

\*行先、集合場所等については、担当者に問い合わせること。

### 会 務 報 告 支部役員会

第409回支部役員会

2020年2月5日（水）18:30～20:30（於）鴨沂会館

出席：19名 欠席：8名

「報 告」

1月に実施された支部新年会、巨木探訪について報告。

支部長・事務局長報告

今西錦司賞候補について協議、村山裕嗣会員逝去の報告。

会計委員報告

会計マニュアルを作成した。会計業務の簡素化を図りたい。

「計 画」

2月に実施予定の山行計画について協議・承認。

第410回支部役員会

2020年3月18日（水）18:30～19:40（於）長岡京

市中央生涯学習センター

出席：14名 欠席：13名

新型コロナウイルスの影響で、鴨沂会館が使用できず会場を変更した。

「報 告」

2月、3月に実施されたスキー例会、五支部スキー

山行、巨木探訪、平日例会山行・栈敷ヶ岳について報告。

支部長・事務局長報告

新型コロナウイルスへの対応を協議。次期支部役員については、若手会員を登用したい。

友の会に2名入会を承認。

「計 画」

3月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「そ の 他」

4月開催の総会について協議。講演会、懇親会はコロナ対策として中止。総会開催の可否は4月1日の役員会で決定。

4月から京都新聞に「京都の山々」を連載する。

第411回支部役員会

2020年4月

新型コロナウイルスの影響でメール対応での役員会

を開催

緊急事態を受けて、総会は書面に対応。

2020年度の事業計画、予算、役員人事等を承認。

(中川 寛記)

## ＝ あ と が き ＝

思いがけないコロナウイルス騒動で、今年は桜と新緑の季節に山を楽しむことができなかった。山の中にウイルスはいないのだが、ステイホームや移動の自粛を言われると何となく出かけにくく、例会も中止せざるを得なかった。6月からは府県境を跨いでの移動もできそうで、一日も早く日常に戻れることを願うばかりである。(H.N.)

## ＝ 次号 140号 予告 ＝

2020年9月15日発行 原稿締切7月31日(金)

原稿送付先 編集担当 山田和男

### 日本山岳会京都・滋賀支部会報 「支部だより139号」

発行所 〒525-0072 草津市笠山3-6-6

松下征文方

日本山岳会京都・滋賀支部

発行者 松下征文

編集者 中川 寛

印刷 〒603-8148 京都市北区小山西花池町1-8

(株)土倉事務所

TEL 075-451-4844 FAX 075-441-0436

# 大文字山

フィールドンサイエティ(法然院森のセンター) 編

# トレッキング手帖

ユニークな地質、植物や生きものたち、人の歩みを語る歴史遺産など、5つのコースから大文字山(如意ヶ岳)とその麓の街をめぐりながら楽しむ、歴史都市「京都」の再発見トレッキング。

1,300円



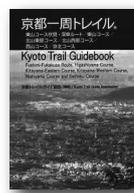
# 京都一周トレイル

京都トレイルガイド協会編

## Kyoto Trail Guidebook

今人気の京都一周トレイルの、6つのコースを網羅した初めてのガイドブック。とにかく分かりやすい地図と英語対訳付きで、外国人観光客へのガイドにも最適です。

1,800円



# 京都を学ぶ

文化資源を発掘する  
京都学研究会編 各2,200円

## 【洛北編】

京都の眠れる「宝」(文化資源)に光を! 北山のヤマユが紡ぐ絹糸、葵が繋ぐ賀茂祭と将軍家など、洛北の自然・歴史・文化を探究する。

## 【丹波編】

山国・京都丹波を再発見! 平安仏、明智光秀の統治、グンゼと蚕糸業、保津川下りなどなど、山里に刻まれた歴史・文化を掘り起こす。

## 【南山城編】

京都と奈良を結ぶ回廊地域・南山城。木津川、緑茶、恭仁京、飛鳥仏教、名勝地笠置、流れ橋など、南山城の文化的景観を掘り下げる。

## 【洛西編】

名勝・嵐山で知られる洛西。桂川、渡月橋、竹林、蚕の社・木島神社、天龍寺をはじめとする庭園文化など、洛西の文化的景観を探索する。



以下続刊

## ナカニシヤ出版

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15  
電話 075-723-0111 FAX 075-723-0095

<http://www.nakanishiya.co.jp/>  
表示は本体価格です。

## 世界の山旅手がけて51年!【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーからのご案内

# いつの日か訪れたい世界の山

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現状では「世界の山旅」へ皆さまをご案内することができませんが、秋以降のツアー実施に向けてしっかりと準備をして参ります。皆さまにおかれましても「お出かけになりたい国」や「登りたい山」、「歩きたいトレッキングコース」への夢や希望を、どうか諦めることなく心につなぎとめておいてください。



いつの日か訪れたい世界の山旅



アルパインツアー動画配信



アルパインツアー公式FB



▲グランドサークル(アメリカ)



▲マッターホルン(スイス)



▲キリマンジャロ(タンザニア)



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ©ポンド保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

大阪 0120-938-290  
〒550-0003  
大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)

